

技術発表会と展示会

道設備設計事務所協会が3年ぶりに



北海道設備設計事務所協会は12日、札幌ビユーホテル大通公園で技術発表会と展示会、実務担当者懇親会を3年ぶりに開き、各社の担当者が新技術についての理解と親睦を深めた。

堀井淳史技術委員長は「多くの官民担当者の参加に感謝したい。新技術の展示もある。今後の実務のヒントにしてほしい」と呼び掛けた。

2会場での発表会のうち、先行した機械部門で

説明を聞き今後のヒントを探した

は、三菱重工冷熱の担当者が全空気式床ふく射冷暖房システム(ユカリラ)について解説。道内での施工実績や特色を伝えた。

電気部門では、エナジアの担当者が再生可能エネルギー、EVやFCV車両、リチウムイオン蓄電池が連携した東北地域での導入事例について解説。

それぞれの会場ではその後発表が続ぎ、参加した約50人は質疑応答や発表後に担当者と名刺交換するなどしていた。

この後、161人が参加して懇親会を開いた。